

別紙 3 MITERAS 仕事可視化 機能詳細

I. システム概要

PC から取得された利用データから業務の実態を可視化（「いつ、誰が、どのような仕事を、何時間しているか」をグラフィカルに表現）することにより、業務状況を把握するサービスおよび、自己申告された勤怠データと PC 利用データ(PC の開始、終了のみを取得)を比較し勤務実態を把握するサービスです。

II. 仕事実態の可視化機能

No	機能	概要
1	認証	ユーザ ID/パスワードを利用者ごとに管理が出来ます。
2	労務情報	本サービスを利用する利用者（以下、ログイン者）に関連した情報が表示されます。 ログイン者が自身の組織を管理する者（以下、承認者）の場合は、自分の所属する組織名および管理する従業員（以下、メンバー）の一覧が表示されます。 ログイン者がメンバーの場合は、自身が所属している組織名および自身の名前が表示されます。
3	PC 利用可視化	メンバーの日毎の PC 利用開始時間と PC 終了時間が表示されます。 日付をクリックすることで、PC 利用の実態をグラフィカル表示し確認が出来ます。
4	ソフトウェア利用状況	PC 利用時間における利用ソフトウェアを利用ソフト毎に色分けし表示します。
5	ソフトウェア利用サマリ	日におけるソフトウェア利用割合を、利用ソフト毎に色分けし表示します。
6	利用者動作状況	利用者のマウスクリック・キーボード打鍵数を色の濃さで表示します。 それぞれ、0 打鍵であれば空白、1 ～ 1 0 打鍵は薄赤・薄緑で表示し 1 1 打鍵以上は赤・緑で表示します。
7	イベントリスト	単位時間あたりの利用ソフトウェアのログを、日時およびソフトウェア名で表示します。
8	データ管理	イベントリストは日毎に csv ファイルでダウンロードできます。
9	マスタ管理	各種マスタのメンテナンスが出来ます。
10	Outlook カ	Office365 の Outlook カレンダーと連携し、PC 利用状況のグラフと 1

	レンダー連携機能	日のスケジュールと比較しながら稼働状況を確認が出来ます。
11	ダッシュボード	個社単位、組織単位、ユーザ単位で稼働時間、無操作時間、キーボード打鍵、マウスクリック数、グラフィカルに表示し、確認が出来ます。
12	Web ブラウザアクセス URL 取得	1 分間で最後に Web アクセスした URL を取得します。アクセスした URL が 64 文字を超える場合は、64 文字で切り捨てます。

III. 労働時間の可視化機能

No	機能	概要
1	認証	ユーザ ID/パスワードを利用者ごとに管理が出来ます。
2	労務情報	ログイン者に関連した情報が表示されます。 承認者は、自身の所属する組織名およびメンバーの一覧 所属するメンバーの勤怠データと PC 利用データを比較し乖離が閾値を超えた場合の件数と対象人数をサマリで表示します。 また、勤怠未入力日数も件数と対象人数をサマリで表示します。 カレンダーにより閲覧したい年月を選択できます。 検索機能より、自身の所属メンバーを名前検索できます。
3	勤務実態の把握	メンバーの日毎の PC 利用開始時間と終了時間および、勤怠システムで入力された始業時間と就業時間が表示されます。 勤怠データと PC 利用データを比較し、乖離が閾値を超えた場合や勤怠未入力があればアラート表示します。
4	乖離アラートメール送信	乖離が閾値を超えた場合および勤怠未入力があった場合、メンバーを管理する承認者等にメールで通知を行います。
5	マスタ管理	各種マスタのメンテナンスが出来ます。
6	データ管理	csv ファイルでデータがダウンロードできます。 また、取り込んだ勤怠データの集計および PC 利用データのレポートをダウンロードできます。
7	深夜勤務アラートメール送信	深夜に勤務しているメンバーがいた場合、メールで通知を行います。
8	残業時間予測アラートメール送信	予測残業時間がしきい値を超えた場合、メールで通知を行います。
9	PC 無操作時間 基準値未満アラートメール送信	PC 無操作時間の合計が設定した基準時間未満だった場合、メールで通知を行います。

IV. ソフトウェア

クライアント端末にインストールするソフトウェアの動作要件は以下となります。

動作要件

サポート OS	Windows 10 Home/Pro/Enterprise/Education x86/x64 Windows 11 Home/Pro/Enterprise/Education x86/x64 macOS 10.13 以降
CPU	上記サポート OS が動作する CPU
メモリ	上記サポート OS が動作するメモリ
ハードディスク	300MB 以上の空き容量
ネットワーク	TCP/IP 通信ができるネットワークであること
その他	Microsoft® .NET Framework 4.5 (macOS は対象外)

以上

2017 年 10 月 5 日 施行

2018 年 8 月 1 日 改訂

2018 年 12 月 1 日 改訂

2019 年 3 月 1 日 改訂

2023 年 2 月 24 日 改訂